

心に太陽を

3学期が始まりました

3学期が始まりました。3学期が始まった途端、寒い毎日が続きましたが、校庭や体育館からは元気に遊ぶ子どもたちの声が聞こえてきます。3学期は47日間という短い学期ですが、充実した学期になるよう努めてまいります。今学期もよろしくお願いたします。

今回の学校だよりでは、1学期始業式での校長先生のお話や学校評価アンケートの結果と考察について掲載いたします。

<3学期始業式 森泉 雄二校長先生の講話 「ゆずり葉のように」 >

新年あけましておめでとうございます。ご家族と新しい年を無事に迎えることができましたでしょうか。1月1日には大きな地震が起きて、今も不自由な生活を続けている人たちがたくさんいます。私たちには何ができるか、教室で考えてみてください。

さて、令和5年度も残すところ、2ヶ月ちょっとになりました。学年のまとめをし、そして、次の学年へのバトンタッチの時期です。6年生は5年生以下の下級生に。5年生は4年生3年生に。4年生は3年生に。3年生は2年生に。2年生は入学してくる新しい1年生に、バトンタッチをしていきます。

今日は、20年程前まで3学期の今頃、6年生がちょうど学習した詩、「ゆずり葉」というお話を皆さんに紹介したいと思います。長いので少し短くして紹介します。

ゆずり葉（譲葉） 河合酔茗

こどもたちよ、これはゆずり葉の木です。
 このゆずり葉は 新しい葉ができると 入れ代わって古い葉がおちてしまうのです。
 こんなにあつい葉 こんなに大きい葉でも 新しい葉ができると無造作におちる
 新しい葉にいのちをゆずって。
 世のおとうさんおかあさんたちは 何一つもっていかない。
 みんなおまえたちに ゆずっていくために
 いのちあるもの よいもの 美しいものを一生懸命につくっています。
 今おまえたちは気がつかないけれど ひとりでいのちのはのびる。
 鳥のように歌い 花のように笑っているあいだに 気がついてきます。



普通、木の葉っぱは秋になると散り落ちてしまいます。児童玄関前の楓も、招魂社のけやきの木も秋にたくさんの葉を落とし、今、枝には何も残っていません。ところが、このゆずり葉の古い葉は春が来るまで残り、枝先に次の新しい芽が出て、これが葉になるまで待つ、古い葉が新しい葉にゆずるように落ちることからこの名が付いているそうです。端午の節句に食べるかしわ餅に使うかしわの葉っぱも同じようなゆずり葉で、新芽が出るまで成長を見守っています。

さてこの詩では、ゆずり葉の新しい葉と古い葉が出てきます。そして、古い葉を「お父さんお母さん」、新しい葉を「子どもたち」に例えています。学校では古い葉を「卒業していく6年生」、新しい葉を「岩村田小を引き継ぐ5~1年生」と考えることができます。1~5年生の皆さんが6年生から譲られたもの、つないでもらったもの、伝えてもらったもの何だろう。（子どもたちに質問し、数名の子が発表する。）

5年生から1年生の皆さんは、このゆずり葉のように、6年生の皆さんに大事に守ってもらいながら育ってきた若い芽です。譲ってもらった心をつないでいける人になってほしいと思います。そして、6年生が安心して卒業できるように、若い芽をちゃんと育てていきましょう。

さらに、この「ゆずり葉の心」は、それぞれの学年にもあるんです。皆さんは、ただ譲られるだけでなく、譲る人でもあるのです。6年生は、新しい6年生や全校の皆さんのために、今の5年生は、新しい5年生のために、今の4年生は、新しい4年生のために、今の3年生は、新しい3年生のために、今の2年生は、新しい2年生のために、そして、今の1年生は、今度岩村田小に入学してくる新しい1年生のために。1年生には、新しい1年生に、小学校の楽しいところや、危ないから廊下は走らないんだよとか教えてほしいな。

さて、私は、ぼくは、何を次の人たちにつないでいきますか、伝えていきますか。中にはいい部分ばかりではなく、悪い部分もあるかも知れません。しかし、譲られる人は選ぶことはできません。だからこそ、ゆずり渡す側がそのことを考えて、責任をもってゆずるべきものを用意しなければいけないのだと思います。

1月1日に起きた大地震で、能登半島という所では、多くの家がつぶれ、道は通れなくなり、津波も襲って来ました。住む家がない、飲むものも食べるものもない。温かい服もない。不自由な生活をされたりしているのに、『大丈夫です。私より、もっと大変な目に遭っている人が大勢いるのですから』とみんな言います。そして、水や食べ物をもたらすために、とても長い時間、列に並んでいても文句を言ったりしない。自分が先にもらおうなんて考えずにみんなルールを守っている。

これは能登半島の人たちだけではありません。大きな災害が起こるたびに、日本中の日本人に見られる姿です。強く優しい日本人の姿です。そして、大きな災害が起こるたびに、日本中から大勢の人が助けに行ったり、食べ物飲み物を送ったり募金をしたりしています。これらはずっと前から、日本のおじいさんおばあさん、お父さんお母さんから受け継いできた日本人のよさです。

私たちが、「よいもの 美しいもの」を一生懸命に譲り・伝え、そして受け継いでいきましょう。

＜学校自己評価アンケート（保護者）結果と考察＞

皆様からいただきました大事な評価を、令和6年度の学校運営に活かしてまいりたいと思います。ご協力、ありがとうございました。

A：よくあてはまる B：おおむねあてはまる C：あまりあてはまらない D：あてはまらない 数値は%

評価項目		A	B	C	D	考察・来年に向けて
1	お子さんは、学校生活や授業に対して楽しいと感じていますか	34.2	55.8	7.9	2.1	約9割の皆様から「あてはまる」とご回答いただきました。今後もC、Dのお子さんが「楽しい」と思えるよう、一人ひとりが自分の好きなこと、楽しいこと、なぜと思うことに浸り追求できる学校づくりを目指します。
2	お子さんは、学校生活や授業に対して興味をもって意欲的に取り組んでいると感じますか	28.3	59.7	10.3	1.7	約9割の皆様から「あてはまる」とご回答いただきました。今後は子どもたちの「なぜ」から「問い」と「見通し」を据え、主体的に授業に取り組めるようにしたり、子どもたちの「やってみたい」が実現できる児童会活動や行事等を目指したりします。
3	お子さんは、失敗を恐れず、あきらめずにチャレンジしていますか	15.7	59.0	23.6	1.7	学習の中でアウトプット（発信）とフィードバック（評価）を繰り返す中で出てくる「次はこうしよう」「よりよくしていこう」という思いを実現できる場を保障していきます。また、漢字や計算テスト等、何度でもチャレンジできる機会を位置づけていきます。
4	お子さんは、自分の考えをもち、自ら判断し、自ら行動していますか	21.9	60.7	16.0	1.4	子どもたちの「なぜ」から「問い」と「見通し」を据え、自分の考えを明確にもち友だちと協働しながら課題解決を目指す授業を通して、子どもたちの主体性を伸ばしていきます。
5	お子さんは、とことん考え、とことん浸り込むことに取り組んでいますか	12.5	47.7	35.6	4.2	約4割の皆様から「あてはまらない」とご回答いただきました。教師主導の画一的な指導の中では、とことん考え浸り込むことは難しいと考えます。生活科や総合学習を中心に活動に浸り込める場を増やしていきます。
6	お子さんは、自分の夢をもち、自分のよさを大切にしていますか	21.6	55.8	21.4	1.2	昨年度よりA、Bのポイントがあがりました。まちゼミを開催し、多くの大人や仕事に触れたことで自分の夢について考える機会となりました。今後も多様な大人と学ぶ機会の中で自分の夢について考えたり、自他のちがいに寛容な心を育てることで自分や友のよさを大切にしたりしていきます。
7	お子さんは、自分とは違う他者を認め、協働できていますか	25.6	64.6	9.6	0.2	約9割の皆様から「あてはまる」とご回答いただきました。児童会活動を中心に縦割班活動で異学年との関わりを深めてきました。今後も、異学年との関わりや授業において異なる考えに触れ協働して問題解決していく授業を大切にしていきます。
8	お子さんは、家庭学習の際、自分から宿題を行う習慣がついていると感じますか	33.4	40.8	20.4	5.4	約1/4の皆様から「あてはまらない」とご回答いただきました。知識・技能の習得を重視する家庭学習のあり方が問われていると考えます。知識・技能の習得だけでなく、興味のあることを追求する、自分の課題に即して計画を立てて学習を進める等、主体的な家庭学習のあり方について検討していきます。
9	生活科や楓の時間、学校行事において、子どもの思いを生かした体験学習を工夫していると感じますか	39.3	55.3	4.4	1.0	多くの皆様から「あてはまる」とご回答いただきました。生活科・総合の学習や楓の日の充実、子どもが創る運動会に取り組んできました。今後も子どもの思いを大切に、子どもと教師で創る授業、行事を目指します。
10	学校生活の3本柱「あいさつ」「くつそろえ」「清掃無言」が、家庭生活にも生かされていると思いますか	8.4	41.0	41.3	9.3	約半数の皆様から「あてはまらない」とご回答いただきました。日常的に成果が上がるまで継続して行う構えが子どもたちだけでなく、教師にも不十分であったと考えます。3本柱に取り組む意味を改めて確認するとともに、日常の取り組みの継続化や振り返りを丁寧に行っていきます。

ご意見、ご要望について

- 挨拶ができない子が多いので指導してほしい。
→上記項目10で記載したように、成果が上がるまで継続して行うことを大切に、挨拶の日常化につなげていきます。
- 交通ルールが身につけていない児童が多いので指導してほしい。
→交通安全教室や職員街頭指導をはじめ、登校班長への指導や毎月の振り返り、交通安全係からの指導などを通して「自分の身は自分で守る」意識を向上し、交通ルールを身に付けることにつなげていきます。
- 欠席時の連絡方法を見直してほしい。
→Google フォームによる欠席連絡に変更しました。
- 参観日の回数を減らしてほしい。
→通知表2期制の導入にあたり、9月に個別懇談会を位置づけることを検討しています。その結果、今年度9月に行っていた参観日がなしとなるので、来年度の参観日は今年度より1回減る予定です。なお、来年度の参観日は、子どもたちが学んできたことをアウトプット（表現）し、参観の皆様からフィードバック（アドバイスや評価）を受ける機会を位置づけていきたいと考えています。

今後の 主な予定

＜2月＞

- 1日(木) 来入児交流会・保護者会
- 6日(火) 児童総会
- 9日(金) 参観日(低学年)
- 13日(火) 参観日(学習室)
- 16日(金) 参観日(中学年)
- 20日(火) 参観日(高学年)
- 26日(月) 準備児童会
- 28日(水) 支部子ども会

＜3月＞

- 5日(火) 6年生を送る会
- 8日(金) 学期末大掃除(～14日)
- 14日(木) 3学期 終業式
- 15日(金) 卒業証書授与式
- 16日(土) ～年度末休業(春休み)
- 26日(火) 新6年生準備登校



文責：教頭 北村 和行